

京都の生協

NO. 19

- 木原正雄氏に聞く
- あなたも協同組合人(1)
協同組合の未来をひらく ICA 東京大会
- 京都府生協連の会員紹介

発行 京都府生活協同組合連合会

October ● 1990

〒604 京都市中京区烏丸二条角 西和ビル6F
TEL.075-251-1551 FAX.075-251-1555

周る。 “円”に神秘的ものを感じるのは筆者だけでしょうか。惑星は丸く、太陽の周囲を円軌道を描いて周ります。自然界はひとつのCircle(円)をつくっています。だから輪廻転生などの“生命のCircle”という概念も生まれたのでしょう。映画「バック・トゥー・ザ・フューチャー」とはいわないまでも、過去にさかのぼり新たな人生を送ることができたらと空想するのもまた楽し。そういえばフランクリンも楽しんでいました。「もしもお前の好きなようにしてよいと言われたならば、私はいままでの生涯を初めからそのまま繰り返すことに少しも異存はない。ただし、著述家が初版の間違いを再版で訂正するあの便宜だけは与えてほしいが」(『自伝』)と――。

生産から廃棄までを見通して



京都大学生活協同組合理事長

清水 大吉郎

私のところの生協は1949年（昭和24年）に設立されたので、昨年40周年をむかえ、記念行事を行いました。私事ですが、創立の直後に入学し、その後小さな店があるのを知り、やがて組合員になり、現在まで続いているというわけです。最初のごく小さい店から比べると、規模も扱う商品も大きく変わってきています。戦後間もなくの物資不足の時期から豊富な商品にかまされた現在までを見ると、この先どうなっていくのかといささか考えざるを得ません。

京大生協の定款の事業の項には、「時計ならびに万年筆などの修理」というのがあります。今どきそういう事業をしているところは、我が国ではほとんどないでしょう。電気機器でも今では故障すると、どこかの部品のセットを取り替えるだけで修理という感じではありません。取り替えられた部品がどういう構造で何が使われているのかは、素人にはもちろん業者にもわからないのではないのでしょうか。そのあとは廃棄物となって捨てられているのでしょうか。

先ごろ、京大生協では「キャンパス・クリーン大作戦」を行なったのですが、実にさまざまなものがゴミとして捨てられているのに驚きました。大学の中には乗り捨てられた？自動車が何台もあり、いつの間にかバラバラになってゆくのが見ることが出来ます。どういう材料や薬品が使われているのかわからないまま、ゴミとなってゆくのは不安なものです。

我々が日常の会議で消費する紙の類も増加する一方です。「何の資料でもコピーをして配っておけば安心」ということで、ついつい書類がふえている傾向があります。必要なものはやむを得ないとして、回収・再生というシステムがまだまだ不十分です。

地球上の資源問題として考えると、生活水準を下げるということが出来ない以上、商品を生産する段階から売られ、使われ、捨てられる段階までを見通したとりくみが必要となってきています。

再生紙の利用、自然に分解するプラスチックなどいろんな試みが始まっていますが、生協運動の重要な視点とすべきでしょう。

CONTENTS

- ①木原正雄氏に聞く——消費者が提案する生活スタイルを
- ⑤「健診チーム」で健康づくり——乙訓医療生協
- ⑤10回を迎えた平和のための京都の戦争展
- ⑥あなたも地球協同組合人(1)——協同組合の未来をひらくICA東京大会
- ⑦第16回原子力発電問題シンポ・京都で開催
- ⑧環境問題をおう(1)——開発と環境に関する国連会議
- ⑨京都府生協連の会員紹介
- ⑩気になるこの本『そよ風のひとびと』

京都府生協連会長理事

木原正雄氏に聞く。

「生協はこれからの時代、単に安全なものを、ということだけではなく、私たちの生活スタイルはどうあるべきか、ということを考えていく必要があるでしょうね」——京都府生協連第37回総会で新しく京都府生協連会長に選出された木原正雄・京都大学名誉教授の話は平明な語りのなかに、透徹した哲学がありました。以下、木原会長へのインタビュー。聞き手は同じく京都府生協連の新理事となった塩貝信子さん(乙訓医療生協理事)です。



いまこそ消費者が提案する生活スタイルを。

変わりゆくふるさと京都に思う

塩貝 先生は今年の4月まで6年間、高知にいらしたんですね。どうですか、久しぶりの京都は？

木原 私は、京都で生まれ京都で育ったんです。今まで3年以上、京都を離れたのは3回だけで、そのうち高知にいたのが最長の6年です。ですから、私のふるさととはやはり京都で、京都をこよなく愛しています。

でもね、京都も変わりました。高知にいる間、1か月に1回は京都に帰っていたのですが、たった1か月の間に、以前にあった家が無くなってしまっている。どうも、私は京都が良く変わっているとは思えませんね。昔の京都のすべてがいいとは言いませんが、今の変化というのは、まったく

いいところがないと思います。

塩貝 ほんとうに町がこわされ、山が見えなくなってしまっています。ところで先生は、京都にとっていい時代に幼少のころを過ごされたと思うのですが、どんな少年だったんでしょうか(笑)。

木原 いい子でもなく、勉強するわけでもなく、やんちゃでもなく、といったところですか(笑)。家が室町で友禅の仕事をしていたものですから、中学生のころから走り使いの丁稚の役目をやったことがあります。ですから、京染については「見る目」ができたようです。へんな話ですが、花見小路とかで舞妓さんや芸妓さんを見ると、自然に着物に目がいきましてね。いいものを着ているかどうか、なんてことが、だいたい分かるんですよ(笑)。そんな環境でしたから、大学に行っても、

京都の産業に興味があって、西陣の調査なんかをやったことがあります。

余談ついでに言いますと、商売柄、親父はよく祇園町に行くことがあったのですが、その時に、子どもの私も連れていってくれたんです。子どもですから、勝手に台所へ行ってご馳走してもらったりしましてね。ですから、お茶屋さんの舞台裏なんかはけっこう知っているんです。大人になってからは1回も行ったことはありませんが(笑)。第一、お金がありませんので(笑)。



木原 正雄(きはら・まさお)

京都大学名誉教授・経済学博士。
1918年1月5日生。

1941年立命館大学卒業、1946年京都大学助手、講師、助教授を経て1968年京都大学教授、1981年京都大学停年退職、1981～84年阪南大学教授。1984～90年県立高知女子大学学長。1990年5月より京都府生活協同組合連合会会長。

「人と変わったこと」をやろうと…

塩貝 そうでしたか(笑)。でも、そんな少年時代をおくられた先生が、どうして社会主義経済とか原子力問題にとりくまれるようになったのですか？

木原 中学卒業の年が昭和10年で、その年の2月26日が、あの2・26事件です。東京へ専門学校の試験を受けに行ったのは、その4日後くらいで、ずいぶん騒然としていました。そんな時代でしたから、なにか「こういうことでいいのか」という気持ちがありましてね。それと、どうせ勉強するのなら、あまり人のしないことをやろうと…。まあ、ちょっと変わり者だったのかもしれないね(笑)。当時、「人がやらないこと」というと、ロシア語なんて、その最たるものでしてね。そんなことしていると、「あいつはアカだ」と言われる状況がありましたから、よけいにやりたいと…(笑)。

塩貝 反骨精神のかたまりでいらしたんですね(笑)。

木原 それで、中国のハルビンにある専門学校でロシア語を勉強し、せっかくロシア語をやったんだから、社会主義経済を研究しようかなと…。あまり大成はしなかったのですが(笑)、一生の仕事になりました。

塩貝 原子力問題と社会主義経済は、どう結びつくのですか？

木原 今、社会主義の国は大きな激動を迎えています。私はかねがね、このままではすまないと考えていたんです。最初に考えたのは、それまで順調だったソ連経済の調子が悪くなった1960年代ですね。

その原因については研究者の間でもいろんな意見があったのですが、私は「人のやらないこと」というのが、いつも付いてまわるものですから(笑)、軍事政策が経済に非常に大きなマイナス影響を与えているのではないかと、私なりに考えたわけです。というのは米ソの核兵器の生産競争ですね。これは非常に金がかかる。そのために赤字国債を発行する、という形ですね。

で、核兵器の生産に興味を持ったわけです。それと前後して、アメリカから日本に原子力発電が導入されました。日本の原発は、アメリカの原子力潜水艦についている炉を陸に揚げ、大きくして発電用に使ったんです。もともと兵器の副産物として導入されたわけですね。その当時、たまたま日本学術会議の会員として、原子力特別委員会の委員長をやってまして、当時、原子力研究所におられた中島篤之助さんらと一緒に原子力問題に関わったわけです。

核兵器ある限り原発は不可！

塩貝 初めは、どう結びつくのかよく分からなかったのですが、ほんとうに一本、すじが通っているような考え方、生き方なんですね。私たち主婦の感覚ですと、イラクの問題が起これば、石油がどうなるかと心配になり、そうなったら原発も必要ではないかと考えたりで、ついつい目先のことにとらわれてしまいます。

木原 いま言われたこと、非常に難しい問題ですね。現に日本では原発が大きな比重を占めてきましたし、地球の温暖化問題で化石燃料を燃やすことはCO₂を増やすことになる。だから原子力発電はクリーンだとか言われたりもします。しかし原子力は決してクリーンではありませんね。一度事故が起こったら大変なことになります。安全だ安全だと言いますが、スリーマイルやチェルノブイリを見ても、積極的に推進できるようなものではないと思っています。

それから廃棄物の問題があります。核兵器の生産が続けられる限り、原発からつくり出されるプルトニウムを心配しないわけにはいかない。私は核兵器が地上から無くならない限り、原発は積極的に推進すべきではないと思います。

石油の問題で言えば、日本ほど石油に依存している国はないと思うんです。これは石炭をつぶして石油に切り換えてきた結果ですが、基本的にはアメリカの石油資本が日本に石油を売りつけるための戦略です。ドイツ、フランス、イギリスといった国は、ちゃんと石炭を使っているんです。で



すから、日本ももっと石炭を使うべきだと思いますね。液化するとか、いろんな方法がありますし、代替エネルギーについては天然液化ガスなんかも使えます。原子力があるから、代替エネルギーの研究を全然やっていないことに問題があると思いますね。

消費税廃止へ粘り強く

塩貝 すでにイラク問題に便乗してガソリンが値上げされました。石油製品の値上げの監視など、これから私たちがとりくむべきことがいっぱいありますが、いまお話ししていただいたことを、しっかり勉強して運動しなければと思いました。

ところで、先生と生協の関わりといったところもお聞きしたいのですが。

木原 生協とはわりあい縁があるんです(笑)。1946年から京大にいたのですが、そのころから生協をつくらうという動きがありまして、ちょっと手伝ったりしていました。

それから、京大生協が学内の学生運動の影響を受けて、大変な状況になったことがあるんです。そのあと、1966年頃でしたか、先般亡くなられた永良巳十次さんが専務理事になられた頃のことですが、私が理事長になって、一緒に東大生協に応

援を頼みに行ったりしました。当時、よく「生協とはなんぞや」という議論を夜中までやりました。私が何かしたというわけではないのですが、縁は深いですね(笑)。

塩貝 奥様にも、京都生協の家計簿委員会で活躍いただいたり、随分お世話になっています。

木原 家内がなぜ家計簿に一生懸命になったかという、貧乏な生活をしていますから、やりくり算段せざるを得ないという事情があるんです(笑)。

塩貝 先日、家計簿委員会がしらべてみると、平均108,691円という消費税を払っているという結果が出ました。非常に貴重なデータだと思いますが、こういうことも続けることが大切ですね。

木原 そうですね、生協という組織体にとっても続けることが何よりも大切だと思います。一番困難なときにこそ、続けなくていい。

最近、困ったことに消費税の問題は影が薄くなっていますね。消費税は税金のなかで一番の悪税だと私は思っているんですが、これを廃止する運動を粘り強くやらなければならない。しかし、今の段階で「反対、反対」だけでは、とても抵抗できないと思うんです。そういう点で、家計簿委員会だけでなく、生協組合員全体が、消費税をどれだけ取られているかということ、ちゃんと知っているかというのを、ちゃんと対抗できないと思いませんね。

塩貝 きちんとデータを出して、その数字で実感していくというのは、頭では分かるのですが、実際は面倒くさくて…(笑)。

木原 そうですね(笑)、内税になってきていますから、家に帰ってからきっちり計算することが必要だと思います。

消費者が提案する生活スタイルを

塩貝 最後に、この5月から京都府生協連の会長をお引き受けいただいたわけなんです、抱負の一端なりをお聞かせいただけますか。

木原 私より若くて優秀な方がたくさんおられるので、適任ではないと思っていたのですが、お受けした限りは何かお役に立つことがあればと思っ

ています。

抱負というようなものではないのですが、生協組合員みなさんにぜひ考えていただきたいことがあります。

最近の世界や日本の動きをみると、特に日本の政治・経済・社会のあり方というのは、決して昔にくらべて良くなっていないと思うのです。社会情勢なんか特にそうですね。殺人が増え、子どもの殺人なんかも出てきている。政治も経済もまったくアメリカのいいなりになっていて、イラク問題でも日本は全然自主性がありません。

これは困りますね、すべて私たちの生活に直接響いてくることなんです。

ですから日本が豊かになったと言われますが、私は以前から「日本貧乏論」なんです(笑)。「豊か」とは何をもって「豊か」なのか。百貨店に行けば何でも並んでいて、何でも食べられるのが「豊か」といえば、「豊かさ」の一側面ではありませんね。しかも、食べ物一つとっても、子どもたちの好きなものはカレーライス、ハンバーグでしょ。こんなものを食べていて、食生活が豊かだとは思えません。まあ、ひもじい思いはしなくていい、ということと言えますね。

しかし、アフリカなどにみられる貧困をそのままにしておいて、東南アジアからいろいろなものを持ってきて、日本だけが飽食して、決して「豊か」だとは思いません。

今の日本人の生活は、我々自身が創り出した生活ではなくて、まったく大企業によって支配されているような生活だと思いますね。

だから今、我々消費者サイドから「どういう生活がほんとうに豊かなものなのか」ということを考えるべきだと思います。

そういう意味で、生協は単に安全なものを、ということだけではなく、私たちの生活スタイルはどうあるべきかを考えていく必要があると思います。府連会長としてお手伝いさせていただくにあたって、そういったことを、みなさんにお考えいただきたいと思っています。

塩貝 本日はお忙しいところをありがとうございました。

「健診チーム」で健康づくり 乙訓医療生協

乙訓二市一町では、毎年九月と十月の二ヵ月間「老人保健法」に基づく住民の健康診査を、四〇歳以上を対象に実施しています。乙訓医療生協では基本健診推進チームをつくり、健診活動をすすめています。

乙訓医療生協基本健診推進チームが誕生したのは89年8月21日。これまでの当診療所での健診実態からみて、職員の労働の軽減をはかることもさることながら、組合員の健診に対する意識の向上をはかることも重要な課題でした。また、推進チームのとりくみが事業部門の保健・診療部、あるいは保健大学卒生が核となる専門部活動として発展させることも念願としたことです。とりあえず手探りの活動を始めて今年でまだ2年目という状況です。

まず、基本健診についての予備知識を学び、推進チームの役割として次の事項を確認しました。

- ①基本健診は住民が健康に生きる権利を守るための制度であり、医療生協の最も大切な活動という意識をもって、診療所のスタッフと協力し、一人でも多くの組合員に受診の援助をする、という立場で活動しよう。
- ②受診目標を達成し、診療所運営に積極的に参加しよう。
- ③2ヵ月のとりくみ期間を通して、各専門部活動や体制を補強し、外来ボランティア活動の定着への足がかりもつくりよう。

また、健診チームの実務としてはつぎのようなことがあげられます。

①全組合員に基本健診の案内と健診受付ボランティアの募集ピラを7月下旬に配布。

②40歳以上の組合員に受診の呼びかけを8月上旬に葉書で送付。

③期間中は、看板・掲示・健診受付を所内に設け、ボランティア2名で担当。問診・身長・体重・採尿を確かめて職員に引継ぐ。

本年度推進チームは昨年の体験に学びより充実を願い対象者全員の一覧表を作成。受診状況の把握や健診後のフォローに役立てることにしました。

今年始めたボランティアの記録ノートには、開始間も無くわずかな声ですが、前日の気苦労を思いやり、動きを知ったり、改善点に気づくなどボランティアどうしが紙上でつながっています。後一ヵ月半この記録の綴りに期待が持たれます。このアイディアを提供した職員に心でソオッと有難うとささやいています。

(乙訓医療生協組合員・蔡 絹)



10回を迎えた 平和のための京都の戦争展

第10回「平和のための京都の戦争展」は、7月29日から8月7日まで、京都勧業会館で開催されました。

第10回にふさわしく、海外からの出品・協力も多く、特別企画の一つである「パール・ハーバーと広島」コーナーは、とくに注目されました。また、敵の戦意を喪失させる目的でまかれたピラが展示されている「紙の爆弾コーナー」は、それを持っているだけで逮捕された状況下で残された貴重な資料があつめられたもので、来場者の注目

を集めていました。

8月4日には、記念行事として「平和のために戦争を語りつぐ」国際シンポジウムが開催され、アメリカ・東ドイツからの代表をまじえ活発な意見交換が行われました。

京都の生協では、例年と同じく京都生協の「くらしのコーナー」、大学生協京滋ブロックの「平和行進パネル」、そして大学生協事業連合の「ピース・レストラン」で参加しました。(M)

協同組合の未来をひらく ICA 東京大会

2年後の1992年、アジアではじめてのICA大会が東京で開催されます。

ICAとは

ICAは、International Co-operative Allianceの頭文字をとったもので、『国際協同組合同盟』と呼ばれています。ICAとは何か、それは協同組合を世界的に代表する“顔”であり、4年に一度開かれるその大会は協同組合の世論をリードする“頭脳”と言えるかもしれません。ICAの構成メンバーは、世界72ヶ国の農協・生協・信用・漁協・住宅・生産・その他を含む各種の協同組合組織であり、その組合員数の合計は1988年現在5億人を超えています。これは世界人口の1割に相当します。

ICAの活動は国際社会でも注目されていて、赤十字社連盟、世界労連、国際自由労連などとならぶNGO(非政府民間機構)の有力メンバーのひとつに数えられ、国連の主要機関のひとつ経済社会理事会の諮問機関として議案提出権が与えられています。ユネスコを舞台とした環境、人権、平和をテーマとした活動にも積極的に貢献しています。

しかし、こうしたことは、あまり日本では知られていないようです。今回ICA大会が非ヨーロッパ地域としてはじめて日本で開催されることでもあり、この機会に第30回大会の背景や意味などについて考えてみたいと思います。

アジアではじめてのICA大会

ICAは1895年にロンドンで設立されました。当時、設立総会に代表を派遣してきた国は、イギリス、ベルギー、フランス、ドイツ、オランダ、



速く力強い筆運びは努力と熱意を、左右に開いた構図は加盟メンバー6億組合員を有し、その歴史と伝統を誇る国際協同組合同盟を表わしています。デザイン全体では21世紀に向かって環境破壊や貧困と戦い、平和と人間を尊重する社会づくりをめざすICAの創意を象徴します。

ハンガリー、イタリア、セルビア、スイスなどヨーロッパの9か国、他はインド、オーストラリア、アメリカ、アルゼンチンの4か国でした。それ以来、この1988年に開催された第29回のストックホルムまで、ICA大会はヨーロッパを離れることはありませんでした。協同組合はヨーロッパで生まれ、そして花開いたのです。

しかし、状況はしだいに変わりつつあります。1960年代を境に、ヨーロッパの協同組合が停滞をはじめたのです。しかし、これにたいして、戦後独立したアジアのNICS(新興工業国)や日本ではまだ発展が続いています。その結果、日本がICAの会費収入の最大納入国となり、1983年現在その7分の1を負担するまでになっています。ICA大会がアジアではじめて開催されることになった背景には、世界の協同組合が直面しているこうした不均等発展の現実があるように思われます。

協同組合の100年

1995年にICAは創立100周年を迎えます。そのために次の第31回大会は予定を1年繰り上げ、会場もロンドンに移して開催することが決まっています。そこでは「協同組合原則」の大幅な見直しが行なわれる予定とも伝えられています。今回の東京大会では、その前段として、さまざまな協同組合観が披露され検討が加えられるはずで、東京大会のテーマが「協同組合の基本的価値」というのも決して偶然ではありません。

こうした事情は協同組合がいま歴史的な転換点に立っていることを示しています。100年前のICAの設立もまさに画期的な出来事だったのですが、20世紀末の今回もそれに匹敵する歴史的な

転換期のように思われます。100年前に原型がつくられた協同組合が環境の変化に適応できなくなっているのです。その典型的な例が西ドイツにあります。西ドイツの生協は1970年代に経営危機に直面して株式会社に転換しますが、その株式会社も先頃ついに倒産しました。これは日本の複数の銀行が過大な融資を行っていたために、こちらでも大きなニュースになりましたが、じつはヨーロッパではこうした事態が進行しているのです。

注目される日本の協同組合

不振に喘ぐヨーロッパの協同組合から日本の協同組合が注目されています。1980年のICAモスクワ大会に提出された『レイドロー報告』は、協同組合地域社会のモデルとして日本の農協に注目し、総合農協が提供するサービスの総合性に高い評価を与えています。またICAのマルコス会長は、日本の生協が女性の参加によって生き生きと運営されていることに感銘し、それが「参加」「民主主義」「誠実」「他人への配慮」という「協同組合の基本的価値」の提起につながったとも言われています。日本の協同組合にたいする積極的評価がたんに事業規模やマーケットシェアでなく、その社会的役割や組織形態にまで及んでいることが重

第16回原子力発電問題シンポ 京都で開催

「地球環境問題とわたしたちの選択——90年代の原子力発電のゆくえ」をテーマにした第16回原子力発電問題全国シンポジウムが8月25日、26日の両日、京都・立命館大学で開催されました。このシンポには全国各地から研究者、住民運動家など約250名が参加しました。

初日の全体会では「90年代の日本経済と原子力対策」(木原正雄)、「日本の商業用原発の20年の歴史と総決算」(中島篤之助)などの報告。二日目は「だれのための原発か」「地球環境とエネルギー問題」「原子力発電をめぐる最新の技術的諸問題」の三つの分科会にわかれて討議をふかめました。

シンポジウムは、さいごに「エネルギー政策の抜本的転換をもとめる」アピールを採択しました。

要だと思われま

日本の協同組合も転機を迎えています。日本の協同組合に新しい発展の芽が含まれているとしたらそれは何か、東京大会までに結論をだすことができるでしょうか。

(注1) ICAの概要(1985年)

組合の種類	組合数	組合員数
農協	256,392	66,612,740
生協	69,296	129,581,131
信用	204,461	127,895,439
漁協	15,467	2,162,641
住宅	69,278	17,394,554
生産	53,938	6,292,708
その他	71,825	150,025,422
計	740,656	499,964,185

(注2) 都市地域に総合農協ないし諸協同組合のネットワークを設立し、多様な経済的・社会的サービスを提供することによって、都市部の人々が孤立しないようにし、地域社会の活性化を図ろうというプラン。日本協同組合学会誌編『西暦2000年における協同組合』日本経済評論社、1989年に詳しい。

(京都府立大学講師 的場 信樹)

京都府生協連は、このシンポの京都実行委員会に参加し、必要な協力を行ないました。(H)



環境問題をおう(1)

開発と環境に関する国連会議

92年6月にブラジルで開催

1972年6月にストックホルムでひらかれた国連人間環境会議は「かけがえのない地球 (only one earth)」のこぼをうみだした、最初の国際的な環境問題に関する会議でした。この会議は、1968年の第45回経済社会理事会でスウェーデン政府が「人間環境」が急速に損なわれているとして国連主催の開催をよびかけ、翌69年、国連事務総長が「人間環境問題」に関するレポートをまとめるなどの作業が積み重ねられるなかで準備・開催されたものです。この会議には、113ヶ国の政府代表が出席し、人口、居住、土壌、水、農薬、エネルギーなど幅広いテーマでの討論を行ない、その成果が「人間環境宣言」と「人間環境のための行動計画」の二つの文書にまとめられました。また、これをうけて国連環境計画 (UNEP) が設立されました。

このストックホルムの人間環境会議から20年目の1992年6月、ブラジルを開催地として「開発と環境に関する国連会議」が開催されることになりました。これは、昨年1989年12月22日の国連総会での決定にもとづくもので、現在、準備委員会がどのような会議にするか検討をしています。また、

この会議のための特別事務局がジュネーブにおかれ、連絡事務局がニューヨークとナイロビにおかれています。いまのところ、「国連会議」は6月1日から2週間、リオデジャネイロで開催される予定です。

この間の、国連としての環境問題のとりくみを見るとき、重要な位置を占めるのが1987年に「環境と開発に関する世界委員会」がまとめた最終報告書「われら共有の未来 (原題 Our Common Future、委員長の名をとりブルントラント報告ともいう)」です。このレポートが、今日の「環境ブーム」のひとつのきっかけとなったといえます。

また、同じ87年、国連総会は UNEP が作成した「2000年及びそれ以降の環境展望」を採択しています。

いま準備されている「開発と環境に関する国連会議」での討議の基調には、これらの文書がおかれますが、とくにブルントラント報告が提示した sustainable development というこぼがキーワードになりそうです。これは「持続可能な開発」と訳しているようですが、その意味するところは「将来の世代のニーズを損なうことなく現在の世代のニーズを満たすような節度ある開発」というものです。

「国連会議」の中心テーマは地球環境保全のための諸問題について国際とりきめをつくりあげることですが、温暖化防止、生物種の保存、熱帯雨林の保護などについては、すでにとりきめをつくるこぼがほぼ合意されています。こんご、各国の政府、国民が実行すべき原則をまとめた「地球憲章」やそのための行動計画がまとめられていく予定です。いずれにせよ、世界各国の政府機関をはじめ多くの NGO がブラジル会議にむかって活動を開始しようとしているのです。21世紀にむかう地球環境保全のための有効な戦略がくみだされるかどうか、おおいに注目したいものです。(H)



ことしのアースデーには世界中の人びとがたちあがった (写真は「アースデー京都集会」)

京都府生協連の会員生協 紹介

京都生活協同組合



1964年、京都洛北の地に「協同」の火種が生まれました。京都洛北生活協同組合の誕生です。組合員679名からのスタートでした。1974年、洛北生協は京都市内および周辺都市への事業拡大に合わせ、「京都生活協同組合」と改称。そして創業26年を迎え、現在、組合員数29万余名になりました。

共同購入 (17支部)、組合員センター (30店舗)、カタログ供給の三つのシステムで、組合員に商品を供給しています。班・グループを基礎に、小学校区単位の運営委員会のきめこまかい運営のもとで、商品活動、平和・くらし・環

あみの生活協同組合



今年で7年目を迎えることができました。

組合員1,900人で組織率40%弱となり、地域の中で果す役割もより大きくなりました。

地域内流通をモットーにしながら町内酪農家と組んだ「あみの生協牛乳」、組合員農家と一緒に「卵・野菜やくだもの」、町内業者による「あみの生協しょうゆ」、地元の魚貝類など身近な生産物の供給に心がけています。

組合員活動では、消費税廃止にむけたデモ行

●所在地

〒601 京都市南区吉祥院石原上川原町1-2
☎075-681-1100

●代表者氏名 理事長 横関 武

●設立年月日 昭和39年11月27日

●組合員数 297,354人

●出資高 6,860,860,000円

境を守る活動、文化活動など組合員の自主的、自覚的な運動がすすめられています。また、組合員ひとりひとりの声を生かしてより地域に根ざした民主的な運営をすすめるため、5つのブロックごとの運営体制 (ブロック体制) をとっています。

京都府内全域をくまなくフォローし、その地域における「生活文化情報の発信地」として、地域のコミュニケーションの拠点として、地域に根ざした積極的活動を展開していきたいと考えています。

●所在地

〒629-31 京都府竹野郡網野町網野小字妹
73番地の3
☎07727-2-5046

●代表者氏名 理事長 岡野 時夫

●設立年月日 昭和58年11月22日

●組合員数 1,900人

●出資高 11,831,000円

進・自動車パレード、水道水を良くする請願、署名運動等々他団体と一緒にになった取り組みや、アースデーの取り組み (浜そうじ、道路端の空き罐ひろい、排水チェック活動) を運営委員会を中心に実施しています。

地域で果す役割が大きくなるにつれ、組織率をより高くする必要を実感しながら組織拡大に取り組んでいるこの頃です。

京都大学生生活協同組合



パソコン講習会なども開催……

京都大学生協は、学生・院生・教職員2万人組合員の生活文化の向上をめざし、購買事業・書籍事業・食堂事業・プレイガイドサービス・旅行事業・下宿斡旋事業・学生総合共済など様々な事業やサービスを行なっています。

現在すすめている『第5次中期計画』(1990年～1995年2月)では、“勉学・研究を支える事業をさらに強め「魅力ある京都大学づくり」に貢献する生協をつくろう”を基本テーマにとりこんでいます。

書籍部は、洋書の取扱いの強化拡大や教科書の全面取扱いをはじめ、授業・教育・研究活

●所在地

〒606 京都市左京区吉田本町
☎075-771-6211

●代表者氏名 理事長 清水 大吉郎

●設立年月日 昭和24年5月25日

●組合員数 22,320人

●出資高 283,800,000円

動・図書館に役立っています。また売り場面積の拡大もめざしています。

購買では、「誰もが、パーソナルコンピュータを勉学研究の道具として使いこなせるように、大学の勉学・研究環境の認知と革新への事業」=『HELP事業』をすすめ、勉学研究関連商品群の強化をめざしています。

そのほかにも、学会や研究活動から余暇活動までをサポートする旅行事業の強化、健康と楽しさを提供するキャンパスフードサービスとしての食堂事業など、その中で、生協らしさ(環境問題・安全安心など)の発揮を追求しています。

同志社大学消費生活協同組合



同志社大学生協の前身は明治33年12月、安倍礎雄先生と学生有志らの手によって結成された我国最初の大学生協の姿とされる「同志社消費組合」の発足にまでさかのぼることができます。

戦後は昭和22年頃から「学生消費組合」として再興され、その後、生活協同組合として発足して以来、学内の福利厚生事業担当者として自らの発展を果すとともに京都洛北生協、洛南生協(いずれも現京都生協)の設立に大きな努力

●所在地

〒602 京都市上京区烏丸今出川上ル玄武町601番地
☎075-251-4421

●代表者氏名 理事長 太田 進

●設立年月日 昭和28年1月28日
(法人化昭和33年8月1日)

●組合員数 22,090人

●出資高 263,998,200円

を払うなど、京都の生協運動の発展にも大きな貢献をしてまいりました。生協設立37年を迎えた現在、同志社大学の今出川校地、田辺校地の両事業所を中心に、学生・教職員の生活を支える為に一層の発展が期待されています。

また、同志社岩倉高校や同志社中学校の食堂運営や文具の供給活動も委託されており、私学同志社の発展にも貢献する生協づくりをめざしています。

立命館大学生生活協同組合



立命館大学生生活協同組合は、1962年2月に設立されて以来、学生・院生・教職員の勉学・研究・日常生活をサポートし、学園になくはならない生協づくりをめざし、さまざまな事業・活動をおこなってきました。

毎日各店舗に投函される「わたしもひとこと」カードによって店舗運営を改善するとともに、組合員どうしのコミュニケーションをはかっています。「ひとこと」を契機に今年の秋から食堂の割り箸を塗り箸に切り替えました。

一、二部学生委員会、教職員委員会、院生総代・生協委員の各委員会で分野ごとの取り組み

●所在地

〒603 京都市北区等持院北町56-1
☎075-465-8280

●代表者氏名 理事長 山下 高之

●設立年月日 昭和37年2月15日

●組合員数 23,462人

●出資高 322,313,000円

も活発に行われています。

昨年度秋には書籍部全面改装をおこなうとともに、近年とりわけ増大している海外・国内旅行の需要に対応してプレイガイドに旅行センターを新設しました。

現在、立命館大学では、21世紀を見通した大学の長期計画が検討されていますが、1994年の理工学部草津移転、衣笠キャンパスの再整備のなかで、大学の福利厚生施策を担う一パートとしての立命生協がどのような役割を果しうるかについての議論をおこなっています。

竜谷大学生生活協同組合



竜谷大学の設立は、1639年にさかのぼり我国屈指の351年の古い創立の大学です。現在、従来の学部に加え、昨年は新たに社会学部、理工学部が新設され、1万1千名の学生を擁する総合大学として、近い将来1万6～7千名の規模になる予定です。竜大生協も来年は設立25周年を迎え、大学との協調、御協力をもとに、組合員の福利厚生の担い手として、理事会、生協職員、学生委員共々奮闘しているところです。

とりわけ「仏教では食事も大切な修業の一つであり、学問はもとより、食事を作り、また食事をとることも仏道修行真実追求の手段である」との考えから、はからずも「大学生協の学ぶことは喰うことである」と言う歴史的原点と

●所在地

〒612 京都市伏見区深草西浦町4-2
☎075-642-0213

●代表者氏名 理事長 岡 亮二

●設立年月日 昭和41年5月10日

●組合員数 10,632人

●出資高 106,426,000円

軌を一にしています。

キャンパスは、深草・大宮・瀬田に分散されていますが、深草地区では'87年、'88年にホテルと見まちがう程の喫茶談話室と食堂が新設され、組合員の憩いの場として、全国からも注目をあびています。

残念ながら新キャンパスの瀬田地区には、生協施設はありません。それにもかかわらず、400名余にもものぼる組合員が存在し、教職員、学生から強く生協への要望が寄せられています。

私達は、全キャンパスに安心して勉学研究生生活を営める生協の存在を認められるよう、組合員の声を最重視するなかで、努力を重ねています。

京都府立医科大学府立大学生協同組合



私たちの生協は、府立医大・附属看護学校・府立大学・女子短大の2大学、1短大、1専門学校の学生、教職員を組合員としています。

まったく性格を異にする二つの大学を一つの大学生協に統合しているユニークな大学生協です。また、医大には附属病院があり、患者も生協組合員となっています。

現在、理事会では、中期計画にもとづいて組合員と生協の接点の場である店舗を計画的に改善し、大学の機能と組合員のくらしに貢献できる事業の強化をすすめています。

●所在地

〒602 京都市上京区河原町広小路梶井町465
☎075-●

- 代表者氏名 理事長 芦原 司
- 設立年月日 昭和34年12月26日
- 組合員数 5,913人
- 出資高 40,170,500円

すでに90年1月には医大附属病院病棟に新しい購買部とレストランがオープンし、また、90年8月には府立大学の購買部の改装を終え、それぞれの大学の中での役割を發揮してきています。

これからの課題は、他の店舗の施設改善と事業の見直し、強化をはかり、生協が大学の中で一層の役割を果していく力をつけることです。特に、これからは「大学の勉学研究を支える大学生協」として大学からも組合員からも頼りにされる存在となるのが大切になっています。

京都工芸繊維大学生協同組合



五山送り火の一つ「妙法」をすぐ背にして、洛北・松ヶ崎の地に京都工芸繊維大学とその生協があります。

京都工織大生協の始まりは、古く昭和25年頃からあり、様々な変遷の後昭和46年法人格取得、社会的な地位を得ました。昭和63年には学生会館（ホール・会議室の他に、会館食堂、ブックセンター、サービスカウンターを配置）が完成し、組合員の利用条件も改善され、年間事業高は約7億円となりました。

京都工織大は広い意味での工科系の大学ですが、その中には、造形工学科や応用生物学科の

●所在地

〒606 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
☎075-781-5359

- 代表者氏名 理事長 野村 元昭
- 設立年月日 昭和46年5月20日
- 組合員数 3,616人
- 出資高 37,880,000円

ような芸術系・生物系の学科を含んでいます。平成元年度には大学院博士課程の設置、学部・学科改組、昼夜開講制の開始など、種々の改革を実施しました。

学生の登校率は高く、研究・実習は深夜・休日にまで及び、キャンパスは文字通り“生活の場”となっています。それゆえにその生活を支える生協への期待もますます大きなものになってきています。毎日でも同じ顔が合わせられる程の親密な組合員相互の関係を生かして、よりいっそう大学の教育研究に役立つ生協づくりをめざしています。

京都教育大学生協同組合



京都教育大学生協は、貧困な福利厚生施設、運営であったことから学生をはじめとする多くの学内構成員の要求と運動によって昭和39年に設立されました。

1986年には従来の書籍部、食堂、喫茶、購買部に加え、国内旅行業を開始し、1987年には全学の強い要求であった喫茶の改装が実現しました。1989年度の事業高は3億3千万円となりました。

大学をめぐる環境が大きく変化していますが、京都教育大学では1988年に総合課程コース（教

●所在地

〒612 京都市伏見区深草藤森町
☎075-641-9281 (☎692)

- 代表者氏名 理事長 菅田 洋一郎
- 設立年月日 昭和39年7月19日
- 組合員数 1,984名
- 出資高 25,010,000円

員免許なしで卒業できるコース）が新設されたのに続き、1990年には大学院が設置されました。

このような大学の変化の中で、女子学生や自宅生の増加など組合員の生活も大きく変化してきています。生協の事業も組合員の生活の変化に対応し改善・充実させていくことが求められています。さらに、学内コミュニケーションの重要な場としての食堂施設の改装プランを全学に発表するなど、「魅力ある大学づくり」に貢献するための活動を積極的にすすめています。

京都橘女子学園生活協同組合



一昨年に新しい学生会館へ全店舗が移転してから、事業高も出資高も急速に伸びてきました。文字通り、組合員の生活と大学の勉学研究に貢献する生協として着実な前進を遂げてきたといえます。

事業規模と範囲の拡大は、同時に大学や組合員からの期待（過大な？）とも直結しています。特に、勉学・研究を中心とする機器や旅行などに関わる分野は、まだ始まったばかりといえます。

最近では、学生組合員から環境保護の立場から「割りばし」について意見が寄せられ、理事

●所在地

〒607 京都市山科区大宅山田町34
☎075-571-2325

- 代表者氏名 理事長 志賀 亮一
- 設立年月日 昭和54年9月24日
- 組合員数 1,600人
- 出資高 14,382,000円

会でも論議を進めています。同時に、組合員へは割りばしだけでなく、コピーの再生紙使用や再生紙使用のノートなどについてもその利用を呼びかけています。

福利厚生事業が生協に一元化されて既に2年半が経過していますが、理事会では今年の総会で「第一次中期計画（案）」を提出しました。京都橘女子大学だけでなく、高校にも生協の役割を發揮することや、真に学園の発展と組合員の生活文化の向上に貢献するための方向が決まったといえます。今後、増々厳しくなる競争に負けない生協作りを更に進めていきます。

生活協同組合連合会・大学生協同組合京都事業連合



京都事業連合は京都大学、同志社大学、京都府立・医科大学の3生協が食堂の食料を共同で仕入するために「京都ブロック」をつくったことに端を発しています。1961年のことでした。その後、法人化を機に京都事業連合と名称を改め、1990年に区域も京都、滋賀、奈良の一円とし会員数は12会員に増え今日に至っております。

事業連合の役割は、事業や経営管理の業務を集中し専門化することによって、会員個々ですめる業務レベルよりも格段にパワーアップし、

●所在地

〒606 京都市左京区高野玉岡町23-3
☎075-711-1115

●代表者氏名 理事長 伊吹 良太郎

●設立年月日 昭和46年4月30日

●会員数 12生協

●出資高 265,100,000円

会員の力量格差を克服して底上げをはかることにあります。とりわけ、商品の企画、開発、仕入、物流等に関する業務は会員からもっとも期待されているところです。また、会員と事業連合をトータルシステムで結びつけ、業務のなかにコンピューターを効果的に活用し、店舗力や経営管理力の向上をはかっています。

東京事業連合など他の事業連帯組織とも力をあわせて全国的な共同仕入事業を支えることも大切な役割の一つです。

京都府庁生活協同組合



府庁生協は、府民に奉仕する自治体労働者に対して、消費者の立場から「暮らしと平和」を守ること、府職員の福利厚生事業を充実、前進させること、全国の生協などとの協同・連帯を強めることを願って、1972年に京都府職員労働組合が中心になり、大学生協などの支援と府当局の援助のもとに設立されました。

設立後間もなく多額の累積赤字をかかえ、経営危機を経験しましたが、府生協連の指導・援助を得て自主再建を果たしました。

この時期から、府当局も府庁生協は、職員の福利厚生的一端を担う団体と位置づけ、生協の

●所在地

〒602 京都市上京区下立売新町西入ル京都府庁内
☎075-441-7657

●代表者氏名 理事長 中村 義明

●設立年月日 昭和47年1月25日

●組合員数 8,186人

●出資高 37,138,000円

要求にもとづく、助成、援助も拡大しています。

京都では唯一の職域生協として安定、発展をめざして、組合員のライフサイクルにあわせた事業拡大をすすめ、食堂、購買、旅行、保険事業に、また3年前から、京都生協との事業提携を行い、職場に生鮮食料品を届ける週一回の共同購入に取り組んでいます。

このような活動を通じて、組合員のくらしと健康を守ると同時に自治体労働者として、府民の暮らしを守る立場から努力したいと考えています。

京都医療生活協同組合



京都医療生活協同組合は“ナカノ眼科”で知られる眼科診療所を4ヵ所開設しています。高齢者に多い白内障の手術が日帰りでできるので非常に喜ばれています。コンタクトレンズの研究と処方では既に35年以上の経験を備積しており、(株)京都コンタクトレンズと提携して行っている「安心」「迅速」「安く」をモットーとする供給事業には定評があります。また、実用的な医療生協メガネ(レンズ共で5,000円、乱視付6,500円)も好評です。

自覚的な健康づくりのために健康大学やゼミ

●所在地

〒604 京都市中京区河原町三条上る恵比寿町
435番地 山本園ビル 4階
☎075-255-4336

●代表者氏名 組合長 中野 信夫

●設立年月日 昭和25年4月25日

●組合員数 58,652人

●出資高 68,560,000円

ナールを開催して適切な保健衛生知識の普及をはかると同時に、目の健康を守るための無料眼科検診などを行っています。さらに、大極拳、ヨガ、ダンスなどを楽しみながら健康づくりに役立つサークル活動に力を入れるとともに、日頃の食生活に気をつけて成人病を予防しようと尿チェックなどの健康チェックの活動にも取り組んでいます。最近では、高齢者の楽しい健康づくりサークル「百まで生きよう会」が発足し、話題を呼んでいます。

乙訓医療生活協同組合



乙訓医療生協では1987年1月より中・長期計画についての本格的な論議を始めましたが、医療情勢の変化、医業経営の悪化、土地の暴騰など、諸々の悪条件が審議を長びかせ、やっとの想いで本年5月の第6回総代会に「健康センター建設計画案」の提案が実現し承認されました。その後具体化にむけて建設委員会を設置することとなり、いろいろの分野から23名の方々に委員を委嘱し、去る8月30日に初会合が開かれて、いよいよ難事業への第一歩を踏み出すことになりました。又一方では開かれた診療所、頼られる診療所づくりをめざして、懸案であった院所利

●所在地

〒617 向日市寺戸町西野辺13番地の4
☎075-921-0661

●代表者氏名 理事長 蔡 東隆

●設立年月日 昭和59年9月9日

●組合員数 1,854名

●出資高 20,001,300円

用委員会の設置も決まり近々に発足の予定です。

これから私たちの医療生協はこの2つの委員会が車の両輪となって着実に駆動し、その力は必ずや診療活動、組合員活動にも波及して今まで以上に活性化を果し、めざましい前進を遂げるものと確信しています。

乙訓医療生協健康センター建設が一部組合員だけの願いでなく、組合員みんなの願いとなって運動が展開され、更に乙訓地域での健康づくり、コミュニティづくりの運動として根をおろすことが出来ればと大きな期待に胸を膨らませています。

京都労働者住宅生活協同組合

- 所在地
〒604 京都市中京区壬生仙念町30-2
☎075-801-5121
- 代表者氏名 理事長 北林 英二
- 設立年月日 昭和41年2月26日
- 組合員数 4,055名
- 出資高 49,240,000円

京都労働者住宅協同組合（略称・京都住宅生協）は、特殊法人・日本勤労者住宅協会の業務委託団体であり、昭和41年に総評、同盟、労金、労福協を始めとする諸団体のご協力により、「働らく人々に、より良い住まいを、より求めやすく」をモットーに設立され、今日迄に約3,800戸の住宅を京都府下一円に建設、供給しています。

全京都勤労者共済生活協同組合

- 所在地
〒604 京都市中京区壬生仙念町30-2
☎075-801-8107
- 代表者氏名 理事長 古島 小二郎
- 設立年月日 昭和32年10月5日
- 組合員数 183,097人
- 出資高 440,028,300円

最大の共済センターとなっています。

加入者は、労働組合に組織されている勤労者が中心ですが、こくみん共済の発売を契機に未組織の勤労市民に加入がひろがっています。

組合員1,100万人に“ねんきん共済”“医療共済”“終身共済”を含めた「暮らしの総合保障プラン」を提案しています。

——主な取扱種目——

火災共済・交通災害共済・ねんきん共済・総合医療共済・こくみん共済・終身共済

——事業状況——

	(京 都)	(全 国)
総契約高	3兆6300億円	203兆円
給付金	20億2400万円	930億円

私どもは、厚生省認可の共済事業を行なう生活協同組合です。

勤労者みずからの手で、災害に対する備えをする事を目的として、昭和29年大阪に誕生しました。以来、全国各地で建設され昭和46年の沖繩を最後に、ネットワークが完成しました。

昭和51年には全国組織統合が実現し、日本で

八条生活協同組合

- 所在地
〒600 京都市南区八条町4 3 4
☎075-691-7238
- 代表者氏名 岩崎 稔
- 設立年月日 昭和25年3月18日

呉竹生活協同組合

- 所在地
〒612 京都市伏見区両替町4-304
☎075-601-2341
- 代表者氏名 森 清
- 設立年月日 昭和25年2月20日

●気になるこの本

『そよ風のひとびと』

ひらのりようこ 著
(春日住民福祉協議会 1300円)

前 田 直 子

この本はここ10年間に亘る京都市上京区春日学区での老人達の暮らしと、住民福祉協議会との無理のないふれ合いを書いたものです。

春日学区は人口約2,700名。筆者ひらのりようこさんは約50名の老人を訪ねて、さまざまの暮らしを生き活きとスケッチし、誰にでも読み易い明るい本に出来上がっています。

先ずお隣りの戸をがらりと開けて、始るような感じの老人達の会話は、随処に出て来て愉しく、また2ヶ月に1回の食事会・防災教室そこでの参加者の会話。ひとり暮らしの老人へのお弁当のお届けなど、生協のたすけ合いの会の活動と重なることが多いのです。ただ、お食事会にしても、専門の仕出し屋さんに依頼という点で、たすけ合いの会とは異なっています。そして全ての活動が自治体の住民福祉協議会と強く結び付いているのも、生協の場合と異なっています。また交通安全・消防・防災・健康活動にも、老人への心遣いを重く置いてあり、学区ニュースは1,200部発行されています。

こうして見て来ますと、春日学区の対老人活動は、自治体の福祉活動として、よくとり組まれていると言えましょう。また地域の老人の姿が各章に至って、いきいきと描き出さ

れ、それを一篇につなげるオムニバスの構成で出来上がっていて、読み物としての面白さは遂々引きずられてしまいます。

考えて見ますと私共は福祉という事を学校で学んだ事もなく、戦時戦後を流されるままに生活とたたかい、老いて、現在はいろいろ戸迷うことばかりに行き当って慌てているに過ぎません。食事会に出席させていただいても、申訳ないと感謝の思いの裏に、老いとは何と惨めな事かという孤独の想いが必ずある訳です。福祉とは何なのでしょう。学びたい、知りたいと思います。現在の状態から如何に発展してゆくものか、教えていただきたいと切に思いました。

日本は福祉政策が大変遅れた国だと聞きます。この本のてい談の中で、“行政から予算をいただくのは、つづくものではありません。との発言が見えます。住民の意識を変える事によって助け合うのだとされています。この事もよく説明してほしいと思いました。

(くらしの助け合いの会・援助希望会員)



21年目を迎えた京都消費者大会。
90年代のステータスの年に立ち、
今、私たち消費者が直面してい
るさまざまな課題をいっしょに
広く見つめあい、考えあってみ
たいものです。

90年代、消費者としての選択

プログラム 開会

主催者あいさつ

■リレー講演

「日米構造協議は、消費者の利益になるか」

滋賀大学教授 成瀬龍夫

「人権からみた消費者被害」

龍谷大学教授 平塚道太郎

「消費者の権利の実現のために」

弁護士 高見澤昭治

各団体からの報告・発表

決 議

大会宣言

閉 会

第21回 京都消費者大会 **10/25** 木 PMT:30~4:00 **アバンティホール** 主催/京都消費者大会実行委員会
〒616-8000 京都府京都市伏見区深草町5-1-1001



AMANDLA TOUR IN JAPAN

ANCカルチャー・アンサンブル

アマンドラ

主催 | AMANDLA TOUR PROJECT

後援 | 外務省・文化庁・国際交流基金・日本弁護士連合会・ユニセフ・
反アパルトヘイト議員連盟・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新
聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・東京新聞・NHK・東京
放送・テレビ朝日・フジテレビ・テレビ東京・日本テレビ・在日
アフリカ25ヵ国大使館

協力 | ANC東京事務所
企画・制作 | MIRAI co., LTD. 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリ
カ連携委員会

アパルトヘイト廃止を訴え、32名のアーティストが一挙来日
南アフリカの民族音楽でつづる感動のミュージック・ショー

10/30(火) 府立体育館 (北 区) 開場5時30分 開演6時30分
大 将軍
 前売好評発売中 S席 **売り切れ** A席5,000円 B席3,000円

■お問合せ・申込み先 = アパルトヘイトNO / 京都公演の会 (075-252-5039)

■後援(京都分) = 京都府・京都市・(財)京都市国際交流協会・京都新聞社・KBS京都
 京都キリスト教協議会・京都弁護士会・京都生活協同組合